

安全データシート (SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称

製品名 I N共通硬化剤 (アルミパテおよびグラファイト用)
整理番号 01-08202-10
製品の種類 二液形不飽和ポリエステル樹脂塗料用硬化剤

会社情報

会社名 メグロ化学工業株式会社
住所 茨城県古河市下大野1768
担当部署 技術部
電話番号 0280-92-1221
FAX番号 0280-92-7147
緊急連絡先 0280-92-1221

推奨用途および使用上の制限

自動車補修用パテ

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的科学的危険性
有機過酸化物質 : タイプE
健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 区分外
(経皮) : 分類できない
(吸入:ガス) : 分類対象外
(吸入:蒸気) : 区分外
(吸入:粉塵) : 分類できない
(吸入:ミスト) : 分類対象外
皮膚刺激/腐食性 : 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2
呼吸器感受性 : 分類できない
皮膚感受性 : 区分1
生殖細胞変異原性 : 区分外
発ガン性 : 区分外
生殖毒性 : 区分2
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分1 (腎臓、神経系)
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露) : 区分1 (呼吸器系)
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
環境に対する有害性
水生環境有害性 (急性) : 区分1
水生環境有害性 (慢性) : 区分外
オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

熱すると火災のおそれ
重篤な眼への刺激
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
臓器 (腎臓、神経系) の障害
長期または反復暴露による臓器 (呼吸器系) の障害
水生生物に強い毒性

注意書き

「安全対策」

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外または換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと
環境への放出を避けること。

- 「応急処置」 火災の場合には適切な消火方法をとること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 吐かせないこと。
 眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
 目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受けること。
 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。
- 「保管」 容器を密閉して涼しく換気の良い所で施錠して保管すること。
- 「廃棄」 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

- 最重要危険有害性：
 危険性： 温度上昇や異物混入により自己発熱分解を起こす自己反応性物質を含んでいる。
 可燃性物質や還元剤を酸化し、発火するおそれがある。
 有害性： 皮膚に付くと炎症を起こすおそれがある。眼に入り救急措置を誤ると、最悪の場合、失明のおそれがある。また体質によってはアレルギー反応を起こすおそれがある。
 環境影響： 容易に生分解する。
 分類の名称(分解基準は日本方式)： 酸化性物質、自己反応性物質

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区分 混合物
 化学名または一般名 ポリエステル系パテ
 成分情報

成分番号	危険有害性成分	化学式	CAS No.	官報公示整理番号(化審法・安衛法)	濃度(%)
1	過酸化ベンゾイル	$C_6H_5C(=O)OC_6H_5$	94-36-0	(3) -1349	4.5 ~ 5.5
2	フタル酸ジブチル	$C_6H_4(COOC_4H_9)_2$	84-74-2	(3) -1303	4.0
3	硬化ヒマシ油	$C_{18}H_{33}CH=CH_2$	8001-78-3	(8) - 358	1 ~ 5
4	水	H_2O	7732-18-5	(1) - 357	1 ~ 5

労働安全衛生法通知対象物質： 過酸化ベンゾイル、フタル酸ジブチル
 PRTR法通知対象物質： フタル酸ジブチル 第1種 No. 354

4. 応急処置

- 吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移す。安静、保温に努め、速やかに医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合：付着物を拭き取り、大量の水で洗い流す。
 かゆみ、炎症などの症状がでた場合は速やかに医師の診断を受ける。
 眼に入った場合：清浄な水で直ちに最低15分間洗顔を、直ちに眼科医の診断を受ける。
 飲み込んだ場合：水で口の中をすすぎ、直ちに医師の診断を受ける。
 吐き出したら、再度飲み込まないように注意する。
 医師の指示による以外は、無理に吐き出させないこと。

5. 火災時の措置

- 消火剤：水、泡、強化液。
 消火方法：安全な距離を保って注水または泡消火器、強化液消火器を使って消火します。
 手元に適当な消火器具がなく、やむなく砂や粉末消火器等の冷却効果の小さい物で消火した場合は、再燃の可能性があるため鎮火後放水して十分に冷却して下さい。
 本製品が燃えている場合、あるいは本製品に着火の危険性がある場合は、安全な距離を保って大量の水を放水し、消火、延焼防止に努めて下さい。
 消火を行なう者の保護：消火作業の際には必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：暴露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
 漏出した場所の周辺にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。
 環境に対する注意事項：本品を含む廃水の公共用水域への排出又は地下浸透を防止するため、本製品がこぼれた床面などを水で洗い流してはならない。
 封じ込め及び浄化の方法・機材：少量の場合は、紙や布で拭き取り焼却する。大量の場合は、土砂などで流れを止め火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取り焼却する。
 作業の際には、必ず保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

：火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパークなどによる着火源を
生じないようにする。

注意事項

：局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適切に行うことが望ましい。

安全取扱注意事項

：暴露防止のため、保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。
体に異状を感じたり、異状が発生したりした場合は、第4項の応急措置を講じた後に、
必ず医師の診断を受けること。

保管

：35℃以下の温度で貯蔵して下さい。特に直射日光を遮断し、火気厳禁として下さい。
ただし、シート等を掛けて空気を遮断すると、直射日光により内部の温度が上昇し、かえって、
危険な状態となる場合があるので注意が必要です。
本製品の分解を促進する酸・アルカリ類、アミン類、重金属、還元剤等の異物
ならびに木、紙、綿、織物等の可燃物との接触は避けて下さい。
直射日光を避け、適切な換気のある乾燥した冷暗所に容器を密閉して保管する。
その他、消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策：蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適切に行うことが望ましい。

管理濃度・許容濃度

危険有害成分

管理濃度 (mg/m³)

許容濃度 (mg/m³)

〃

日本産業衛生学会(2010年度版)
ACGIH(2011年度版)

過酸化ベンゾイル

未設定

5

5

フタル酸ジブチル

未設定

5

5

保護具

呼吸器の保護具

：有機ガス用防毒マスク

手の保護具

：ゴム手袋

眼の保護具

：保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

：作業衣、安全靴

適切な衛生対策

：作業中は飲食、喫煙をしない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的性質

形状

：ペースト状

色

：青色

比重

：データなし

沸点

：データなし

蒸気圧

：データなし

蒸気密度

：空気より大

溶解度

：酢酸エチル、トルエンに易溶。アルコール、ヘキサンに可溶（製品）

引火点

：91℃（フタル酸ジブチル）

発火点

：データなし

SADT（自己反応促進分解温度）：45℃（BAM）

爆発限界

：データなし

落錐感度

：100 cm 以上

10. 安定性及び反応性

安定性

：通常の条件下では安定

反応性

：温度上昇、及びアミン類、酸、アルカリ、遷移金属化合物、その他の還元性物質との
接触により爆発的に分解が促進される場合がある。

避けるべき材料

：アミン類、酸類、アルカリ類、金属

危険有害な分解生物

：データなし

11. 有害性情報

急性毒性（50%致死量等を含む）：

過酸化ベンゾイル78%品

LD₅₀ 7,710 mg/kg（ラット経口）

LD₅₀ 24.3 mg/L 以上（ラット吸入）

フタル酸ジブチル

LD₅₀ 8,000 mg/kg（ラット経口）

LD₅₀ 5,289 mg/kg（マウス経口）

TDL₀ 140 mg/kg（ヒト経口）

皮膚腐食性・刺激性：

過酸化ベンゾイル

「軽度の刺激性」または「刺激性なし」のデータがあり、
結論「ごく軽度の皮膚刺激性物質」としているため、区分3とした。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：

過酸化ベンゾイル

ウサギに暴露後、24、48、72時間後に刺激性が認められるが、試験又は
試験方法によって刺激性の程度に差がある。よって区分2A-2Bとした。

生殖毒性：

過酸化ベンゾイル

大量（1000 mg/kg/day）反復投与により、雄ラットの生殖器に一般毒性としての
臓器障害がみられるが、生殖毒性に関する項目（交尾率や雌ラットにおける
妊娠率など）には変化がみられていない。また母体毒性がない状態で、成長阻害仔の
高率出生、仔の体重増加の有意な低下が認められる。

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：
過酸化ベンゾイル ヒトの鼻、喉への刺激性がある。

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：
過酸化ベンゾイル データ不足のため、分類できない。

12. 環境影響情報

分解性

過酸化ベンゾイル 水生生物に非常に強い毒性。急速分解性があり（BODによる分解度：84%）、かつ生物蓄積性が低いと推定される。

生態毒性データ

過酸化ベンゾイル 魚類（オオミジンコ）の48時間 LC₅₀ 0.07 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

燃焼法

アフターバーナー及びスクラバ付きインシナレータ中で焼却する。

汚染容器及び包装：

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項に従うこと。容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。火気厳禁。

国内規則

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送：船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類：5.2（有機過酸化物）

国連番号：3108

応急措置指針番号：E146

15. 適用法令

化審法：特定化学物質・指定化学物質に該当しない

PRTR法：フタル酸ジブチル 第一種指定化学物質 政令番号第354番

労働安全衛生法：法57条の2 通知対象物質
（過酸化ベンゾイル、フタル酸ジブチル）
：施行令別表1-1 危険物・爆発性の物
（過酸化ベンゾイル）

消防法：法第9条の3、危険物規則令別表第4 指定可燃物：可燃性固体類（指定数量）3000 kg

船舶安全法：酸化性物質類 有機過酸化物

航空法：酸化性物質類 有機過酸化物 施行規則第194条輸送禁止

港則法：酸化性物質類 有機過酸化物

海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質（A類）
（フタル酸ジブチル）

16. その他の情報

引用文献

- 1) 国際化学物質安全カード（ICSC）－日本語版－（2000）（国際医薬品食品衛生研究所）
- 2) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (NIOSH)
- 3) GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック改訂第2版（日本塗料工業会）
- 4) 製品評価技術基盤機構（NITE）
- 5) 職場のあんぜんサイト：GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
- 6) メーカーMSDS等

- ・危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取り扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この安全データシートをご参照のうえ、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。